

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

拝を通じて、建学の精神の基底をなすキリスト教を精神的・実学的に経験し、国内外の多様な人たちと出会う場として毎回の大学礼拝に出席してください。2019年度もどうぞよろしくお祈りいたします。

【大学礼拝に関する注意点】

- ・大学礼拝は授業期間中の毎週火曜日10時40分～12時10分に行われます。
- ・受付で週報と出席カード（マークシート式）を受け取り、必要事項を記入し、礼拝後に教職員に提出してください。
- ・出席カードのコメント欄に感想をお寄せください。
- ・学期の前半は特に混み合いますので、前の席から順番に座ってください。
- ・前奏から後奏までが礼拝です。心を落ち着けて出席してください。
- ・礼拝中はスマートフォン、タブレットや携帯ゲーム等の使用は禁止です。マナーモードにして、カバン等にしまっておいてください。
- ・前学期のキリスト教学Ⅰと後学期のキリスト教学Ⅱの受講者には毎回の大学礼拝への出席を推奨しています。積極的にご出席ください。
- ・忘れ物が多くあります。週報を含め、退出時にしっかりご確認ください。
- ・緊急時には、後方の出入口と左右の複数のドアが非常口となります。

【讃美・聖歌隊指導者、奏楽者】

讃美・聖歌隊の指導は、相原晴伴先生（循環農学類農畜産物市場論研究室教授）と奏楽者の佐藤理恵先生（日本基督教団野幌教会オルガニスト）がご担当くださいます。どうぞよろしくお祈りいたします。

【聖歌隊で一緒に歌いましょう】

大学礼拝では、学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。毎週礼拝後にオルガン前で練習をします後学期には、クリスマス・コンサートもありますので、積極的にご参加ください。歌ってみたい学生は、本日（毎回）の礼拝後にオルガン前にお越しください。一緒に練習しましょう！

【キリスト教委員会HPの案内】

礼拝の聖書箇所や讃美歌は、キリスト教委員会のHP（<http://rakuno-ce.org>）に掲載していますので、アクセスして事前に確認してください。

【次回の大学礼拝】2019年4月23日（火）10時40分

今回の奨励は、キリスト教学教員の高橋優子先生（獣医学類獣医倫理学研究室）が担当なさいます。ぜひ、ご出席ください。

【大学礼拝週報】 2019年度 第1号（前学期第1号）

2019年4月16日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博（宗教主任）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 天と地の神よ（ヘッセ作曲）
讃美歌 讃美歌312番（いつくしみふかき）
聖 書 フィリピの信徒への手紙2章3-4節
祈 り
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨 励 「他者に対する思い遣り——真のコミュニケーション」
小林昭博（宗教主任）
報 告
讃美歌 酪農讃歌
後 奏 高きにいます神にのみ栄光あれ（アーベル作曲）

【本日の聖書】フィリピの信徒への手紙2章3-4節

3何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、4めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意しなさい。

【大学礼拝とは？】

大学礼拝は「聖書を読み、讃美歌を歌い、お祈りし、奨励を聴く」というキリスト教の通常の礼拝形式で行います。本学はプロテスタントのキリスト教主義大学ですので、大学礼拝の中心は聖書に聴く（学ぶ）ことにあります。具体的には、「奨励」（説教）を通して、聖書の言葉の意味を熟考しつつ、本学の使命である「農・食・環境・獣医・獣医保健看護」といった「大学の課題」、平和や人権といった「社会的課題」、人間の心理などの「内面的問題」等を考えていきます。また、通常の礼拝形式以外にも、クリスマス・コンサート、ゴスペル・コンサート、声楽家のコンサート、韓国の学生団体CCCのメンバーによるプログラムといった多様な形式で礼拝が行われ、春と秋にはキリスト教教育強調週間が持たれます。大学礼